

Ⅱ 報 告

第1 令和3年度国家予算に対する提案・要望（環境局所管分抜粋）

Ⅵ. まちの活力の創出

Ⅵ-1. 地球温暖化対策の推進

»経済産業省、国土交通省、環境省

【提案・要望の背景】

- 気候変動対策としての脱炭素化の動きやエネルギー需要の高まりを受けて、世界的に再生可能エネルギーなどの次世代エネルギーの活用が求められている。
- パリ協定に基づく我が国の長期戦略では、今世紀後半のできるだけ早期に温室効果ガスの排出が実質ゼロとなる脱炭素社会を目指すとしており、本市では、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの普及、水素エネルギー等の革新的技術開発の推進を地球温暖化対策の3つの柱として、市民・事業者に対して賢い選択（COOL CHOICE）を呼びかける「KOBE COOL CHOICE」を推進している。
- 本市では、世界でも類のない液化水素にかかる先駆的な実証事業に取り組んでおり、世界初となる水素発電による電気・熱エネルギーの近隣公共施設への供給を平成30年4月に実施し、水素サプライチェーン構築に不可欠な液化水素運搬船の進水式が令和元年12月に挙行されるなど、次世代エネルギーの中心となる水素の利活用促進に向けた取組みが着実に進展している。
- 水素社会の黎明期にある中で、エネルギー分野における水素の飛躍的拡大は、低炭素社会の実現に寄与することから、水素エネルギーの利活用及び普及促進に向けた先導的な取組みや水素関連製品の開発に対する支援、並びに水素をエネルギーとして積極的に選択する需要者の創出に向けた取組みが不可欠である。

1) 水素エネルギーの利活用促進

- 燃料電池自動車、水素ステーション及び家庭用燃料電池（エネファーム）に対する事業費の確保

4) 市民・事業者向け普及啓発の強化

- 「COOL CHOICE」推進のための補助事業の拡充

5) 災害対応にも寄与する次世代自動車の普及及び活用

- 次世代自動車による災害時の給電活動を円滑に進めるための環境整備（受電設備改修等）にかかる補助制度の拡充

II. 安全・安心なまちづくりの推進

»内閣官房、内閣府、財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

5) ニホンジカ対策

- 六甲山（ニホンジカ未侵入地域）へのニホンジカの侵入防止対策への支援・協力